

「肖像画で見る郷土の先賢」

4月5日(水)～5月28日(日)



富山県の所蔵する「郷土の先覚100人」の肖像画を、その生き様とともに展示しました。これは当館が毎年顕彰を続けている大勢の郷土の先賢を広く県民に周知し、先賢たちの力強い実践力や強い意志に学ぶ機会としました。

今回は、以下のとおり政治・宗教・スポーツ・伝統産業の分野で活躍した先賢18名を展示しました。

★政治分野（9点）

稲垣 示 島田 孝之 武部 尚志 米澤紋三郎 島田七郎右衛門
石坂 豊一 松村 謙三 佐伯 宗義 吉田 貴

★宗教分野（3点）

金山 穆韶 梅原 真隆 亀谷 凌雲

★スポーツ分野（4点）

梅ヶ谷藤太郎 太刀山峰右衛門 佐伯 平蔵 宇治長次郎

★伝統産業（2点）

松井 角平 老子次右衛門

第8回「児童・生徒によるものづくり展」

6月7日(水)～7月9日(日)



県内には、高岡市のもものづくり・デザイン科の取組をはじめ、伝統的、創作的な作品の製作に取り組んでいる小・中・高等学校が多くみられます。教育記念館では、発表の場のひとつとして毎年「児童・生徒によるものづくり展」を開催しています。

今年も180点余りの作品が寄せられました。来場者はじっくりと作品を鑑賞し、作品の多彩さに驚いたり、技術の高さに感心したりしていました。